



編集

## 少年野球・東久留米選抜チームが第23回西東京選抜野球大会で優勝しました！！



東京都区・近郊市から30チームが参加して行われた少年野球大会で、東久留米選抜チームが2度目の参加で、見事その頂点を極めました。

「優勝」のためには、10ブロックでの予選リーグ（3チーム総当たり）で1位になること。

そして予選リーグ1位の10チームによる決勝トーナメント戦が行われます。

東久留米チームは、予選リーグ初戦で負けはしましたが、3チームとも1勝1敗となったため、抽選でトーナメント戦に進出するという幸運に恵まれました。

しかし決勝トーナメント戦では、連戦連勝！優勝決定戦では、昨年の覇者・強豪新宿選抜チームに6：2で快勝しました。

「抽選での決勝トーナメント進出で怖いものなし！そして持ち前のチームワークで前に進むだけ」だったと今井監督。



優勝は、5回時間切れで決まりました。

通常は、7回または9分以内のルールです。

やった！！おめでとう！

来年は、ディフェンディングチャンピオンです、他チームからの挑戦を受けることになりますね。

後に続く後輩たちが、このシーンを眼にやきつけたことでしょう！



東久留米には12の少年野球チームがあります。

今年は、4月14日の選抜チーム結成から、5カ月近くの間で毎週土曜または日曜日に合同練習を行ってきました。この期間中、所属チームでの試合もこなしますから選手たちにはか

りの負担でした。

選抜チームは、各チームからの1名の推薦と監督・コーチの意見で選ばれた、24名で構成されました。

西東京大会の間に、選手の所属チームの試合もあることもありそれぞれのチーム事情から、選抜リーグの試合に出れない選手もいて、監督・コーチの選手起用に頭を悩ますことも・・・。

コーチ陣です（右端が今井監督）



多くの目が、甲子園に釘付けとなっている時に、少年たちは炎天下で同じように「ひたすらの戦い」をしていたのです。



一日の投球制限もあり、複数のピッチャーの頑張りが必要です。



東久留米選抜チームは、「攻守走のバランスがよく、まとまったチームなので予選リーグさえ突破すれば・・・」との自信も監督はじめコーチにあったように感じました。



会場は、昭島市くじら運動公園野球場です。（期間は、8月16日～18日）



保護者の皆さんの日ごろのご苦労も報われました。

8月31日の祝勝会が、選抜チームの解団ともなりました。



今年の選手たちは、来年から中学生、この経験をもって中学野球でも活躍してくれること、「期待大」です。

監督、来年もよろしくお祈りします。

写真は、すべて関係者の了解を得たうえで掲載しています。

市民レポーター 球歩